

令和5年度 事業所における自己評価結果公表用（児童発達支援）

《集計表》

事業所名：チャイルドハートたかた

提出人数 5名

公表：令和 6 年 2 月 中旬

	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
		はい	いいえ					
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		個室が3部屋あるので活動によって使い分けている。		100		0
	2 指導員の配置数は適切であるか	3	2	土、祝は他事業所にヘルプをお願いできる。	個別対応の児童のその日の気分や行動によって指導員の対応する人数が変わってくる。配置に余裕をもってきたい。	60		40
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	4	1	名前を呼んだ児童から靴を履くようにしている。	玄関の段が気になる。指導員が傍について危険のないように気を付けていく。出かける時には順番で子どもを出すので危険を感じることはないが出かけ先から帰ってきた時に同時に室内に入ろうとしたときに狭さを感じる。スロープをつけることも視野に入れていく。	80		20
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5			支援後に整理整頓ができていないことがある。指導員が支援の終わりに整理整頓をして次の支援へとつなげられるようにする。	100		0
業務改善	5 業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				100		0
	6 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			今年オープンのため初めての実施になる	100		0
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		毎月、月初めに「チャイルドネット」を発行して活動内容を知らせている。また、インスタグラムやホームページのブログでも頻りに活動を発信している。	SNSでの発信していることをもっと保護者様にアピールし、フォローしていただけるように工夫する。	100		0
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		チャイルド本部との連携を図っている		100		0
	9 職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	5		厚生労働省の研修動画などを利用している職員全員に周知できるよう伝達講習を行っている	研修を受けた職員がどのように感じたの、研修で何が学べたか等を発表する機会を作り、全員で共有していきたい。	100		0
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5		児発管が一人で取り組むのではなく職員全員と一緒にアセスメントを行っている。		100		0
	11 子どもの状態と適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		アセスメントツールの内容を適宜変更したり項目を新たに入れるなどして子どもの様子がわかりやすいツールにしている。	児発管のみで考えるのではなく、職員からの意見も取り入れていく。職員からの意見が出るように日頃から目的を持って支援できるようにする	100		0
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5				100		0
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		毎朝のミーティングでその日の支援課題を職員で確認している。		100		0
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		月に一度、活動プログラムを決める会議を行っている。		100		0
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5		大分のチャイルドの事業所間での活動に関する情報交換をしている。	今までの活動にこだわることなく、新しい活動をどんどん取り入れていきたい	100		0
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		どの子どもでも参加できる活動を考えている。		100		0
	17 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の行われる支援内容や役割分担について確認しているか	5		朝のミーティングでその日の活動の確認、役割を決めている。		100		0
	18 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5		送迎終了後に終礼をしている。振り返りを送りをしてその日の支援について全員で共有している。公休の指導員にも必ず伝え、知らないことが内容に付けている。		100		0
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		その日の担当した指導員が記録を書くようにしている。ほかの指導員が書いた記録を全員が読む時間を作っている。		100		0
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		モニタリングは職員全員で行っている。事前に用意する書類も児発管が主となって全員順番で取り組めるようにしている。		100		0	
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		児発管が参加している。	今の所は児発管が出席しているが、支援に余裕があるときには指導員にも参加してもらおう予定にしている。	100		0	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		保健センターなどに現況を知らせている。		100		0	
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					0		0	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					0	0	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		月に一度の個別支援会議の議事録を幼稚園、保育園にお配りしてチャイルドでの様子をお知らせしている。		100	0	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		5		開所して初めての移行支援となる。これから行っていく予定		0	100
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		利用児童が通っている訓練先の病院と連携を取り、OT、STの訓練の様子を見学に行ったり、施設訪問支援をしていただいたりしてアドバイスをいただいている。また併用先の事業所に様子をうかがっている。		100	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	近所の幼稚園や保育園にはご挨拶に伺い、チャイルドの存在をお知らせしている。	今後は子ども同士の交流を行っているように声をかけさせていただきたい。		0	100
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		5	市役所のホームページで自立支援協議会の活動の報告を見ている。	自立支援協議会の活動自体がいつどこで行われているのかわからないので、公表していただけるよう市にお願いをする。		0	100
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		その日の担当職員が送迎まで行き、チャイルドでの様子を保護者様にお知らせしている。		100	0	
	31	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	5		モニタリングを行う際に、家庭での様子などをお聞きし、アドバイスを行っている。	今後は保護者会を行ったときにも保護者様向けの勉強会をしていきたい。	100	0	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5		契約をする際にお話をさせて頂いている。		100	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		毎月の児童の評価をもとに、今の課題を職員全員で話し合い計画を立てている。支援内容については保護者様との面談の中での話も組み入れるようにしている。		100	0	
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		送迎の際などに保護者様とお会いして話ができる機会を設けている。		100	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		保護者様が参加できる活動を取り入れている。(親子遠足など)	今後は定期的に保護者会を開催し、保護者様同士の交流が持てる機会を作っていく。また、大分市のチャイルド全体での保護者会勉強会や交流会も行っていきたい。	100	0	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合は迅速かつ適切に対応しているか	5		子どもからの相談はその都度支援の中で解決し、家に持ち帰らないように気を付けている。		100	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		毎月、月初めに「チャイルドネット」を発行して活動内容を知らせている。また、Twitterやホームページでも頻繁に活動を発信している。		100	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		カギのかかる書庫で保管している。		100	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		社会資源などの情報などに常にアンテナを立て保護者様に有益な情報を流せるようにしている。		100	0	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	地域住民の方には開所するときにご挨拶に伺った	今後、ご近所の方にも喜んでいただけるようなイベントを考えていきたい。	0	100	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		マニュアルは策定済み。 ブログを通じて避難訓練の様子を保護者様にはお知らせしている。		100	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		火災、地震、洪水、を想定して毎月避難訓練を行っている。		100	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5		アセスメントをとるときに確認をしている。		100	0	
	44	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		アセスメントをとるときに確認をしている。		100	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		ヒヤリハットはその都度職員と確認し記録に残すようにしている。記録は職員全員が読んでいる。		100	0	
	46	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		虐待防止研修は職員全員が受けている。		100	0	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		支援計画書に記載している。身体拘束委員会でも身体拘束があった場合は委員会にも報告している。		100	0		